

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	韓国語1	1	金 賢信	
平成25年度以前	韓国語 I a	1		
教職	教員の免許取得のための必修科目/選択科目			教職
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 韓国語の文字であるハングルの「読み」「書き」ができることを目指します。また、韓国語の簡単な文の構造を理解し、簡単なあいさつや会話などができるようにします。さらに、韓国の文化に対する理解を深めます。				言語
<b>授業の概要</b> 聴く、話す、読む、書く4技能の総合的な学習を通じ、韓国語の基礎を習得することを目指します。まず、初級学習者にとって最大の難関となるハングルの書き方、読み方を丁寧に学習します。基礎文法、比較的単純な構文、基礎語彙の習得を進めるとともに、学習段階に応じた韓国語のコミュニケーション能力の向上を図ります。さらに、映像や歌なども取り入れて、韓国文化の理解も深めていきます。				情報
<b>授業計画</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス及び基本母音字</li> <li>2. 基本子音字-①</li> <li>3. 基本子音字-②</li> <li>4. 激音</li> <li>5. 濃音</li> <li>6. 合成母音字</li> <li>7. 1文字のパッチム</li> <li>8. 2文字のパッチム</li> <li>9. 連音化</li> <li>10. 激音化と濃音化日本語のハングル表記</li> <li>11. 日本語のハングル表記の練習</li> <li>12. 助詞と自己紹介の練習: 挨拶表現と漢数詞</li> <li>13. 挨拶表現と漢数詞: 職業と国名に関する会話表現</li> <li>14. 職業と国名に関する会話表現</li> <li>15. まとめ</li> </ol>				共通
<b>テキスト</b> 李昌圭 『韓国語をはじめよう』(朝日出版社、2009)				専門基礎
<b>参考書・参考資料等</b> 韓日/日韓辞書				法律一般
<b>学生に対する評価</b> 3分の2以上の出席を前提に、授業内での小テストや指名発表時の理解度評価などを含む平常点と、学期末試験の				政治行政
				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				言語系科目